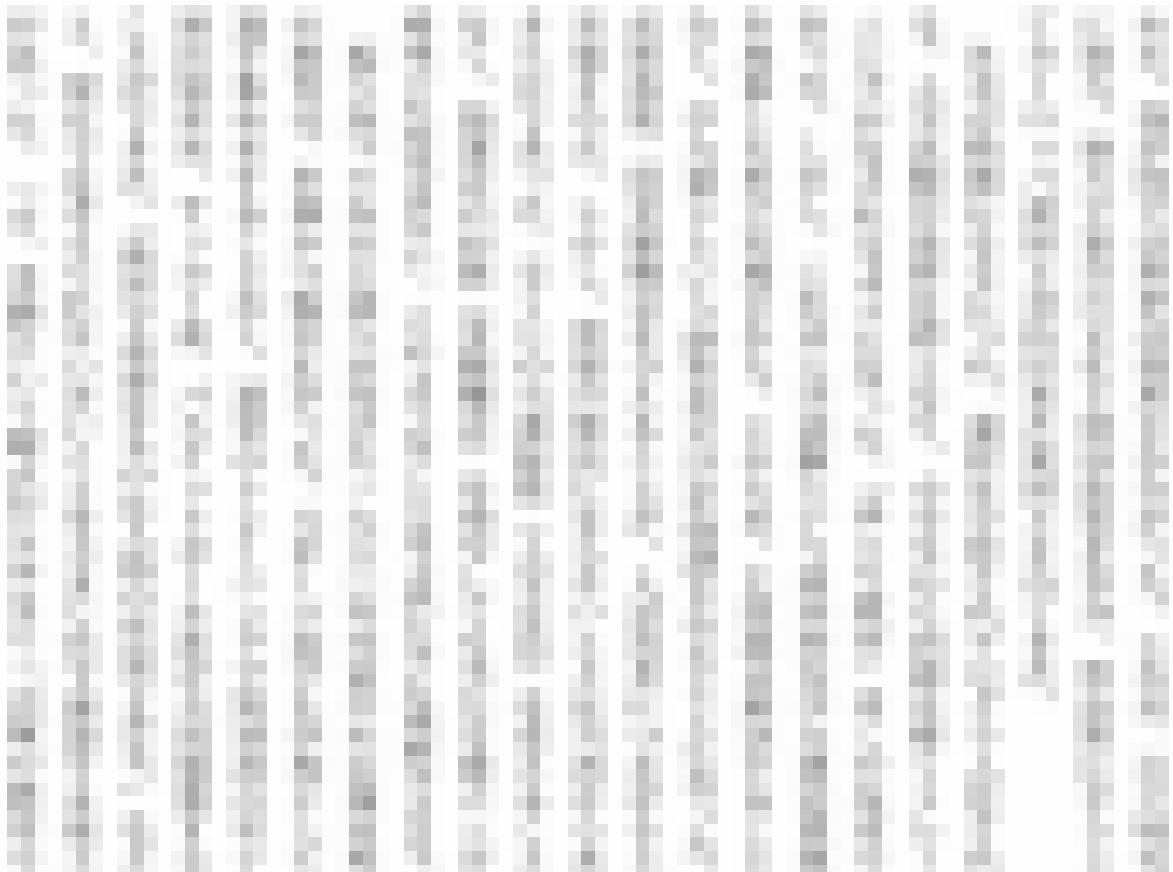


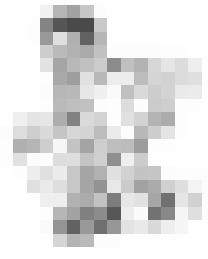
高校教育はどうすればよいか

山城16回 梅田幹雄

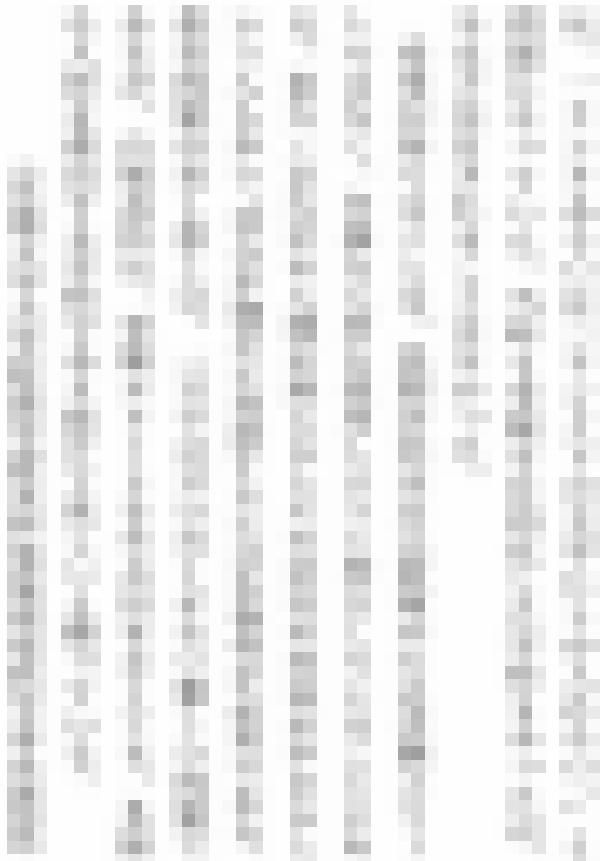
数年前、コンピューターの年号が99から00に変わるという二〇〇〇年問題に巻き込まれた方は多いと思う。今大学では「二〇〇〇年問題」がおきていて、受験勉強の加熱に対応するため「ゆとり教育」を取り入れた新学習指導要領が理解出来ない学生が入学してくることが危惧される。これが大学の二〇〇六年問題である。経済協力開発機構（O E C D）の国際学力調査で我が国の学力低下が顕在化し「ゆとり教育」の功罪が新聞紙上をにぎわしているので、関心のある方も多いと思う。

ある種の高校教育では、大学入試をゴールとして方針が決められる。入学試験は極めて狭い範囲を測るものであり、これは通常の高校教育が行われていることを前提としている。一定期間に、一定レベルに達することができる者は、命令系統に入つて司令部の命令を伝達するには適している。中国の科挙は、皇帝の命令を伝達するための官僚機構構築を目的として作り出さ





— —



—